

平成29年度 決算審査

前年度比3.8%減

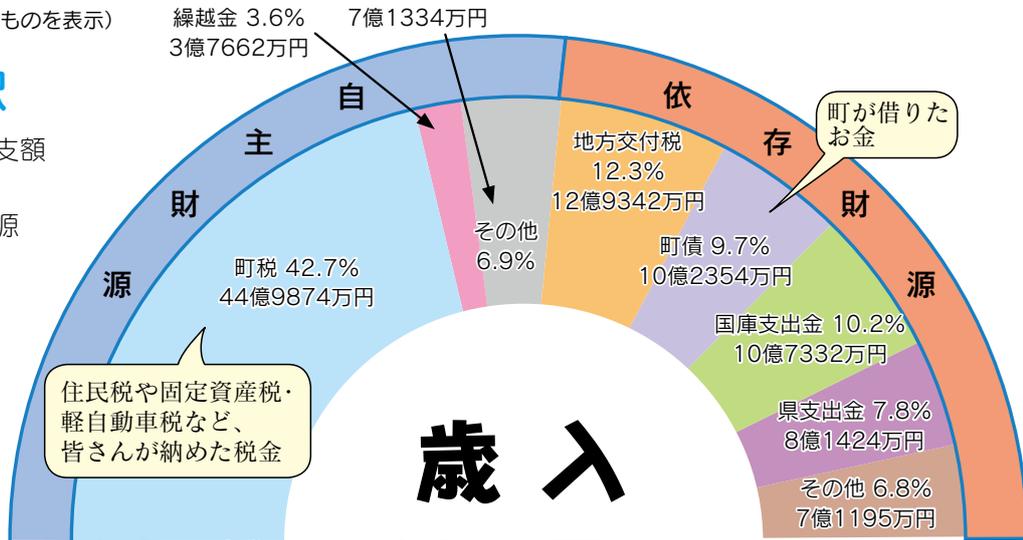
一般会計

105億円の使い道は!?

(前年比の増減の大きなものを表示)

決算の内訳

- ・一般会計形式収支額  
3億2930万円
- ・翌年度 繰越財源  
3592万円
- ・実質収支額  
2億9338万円



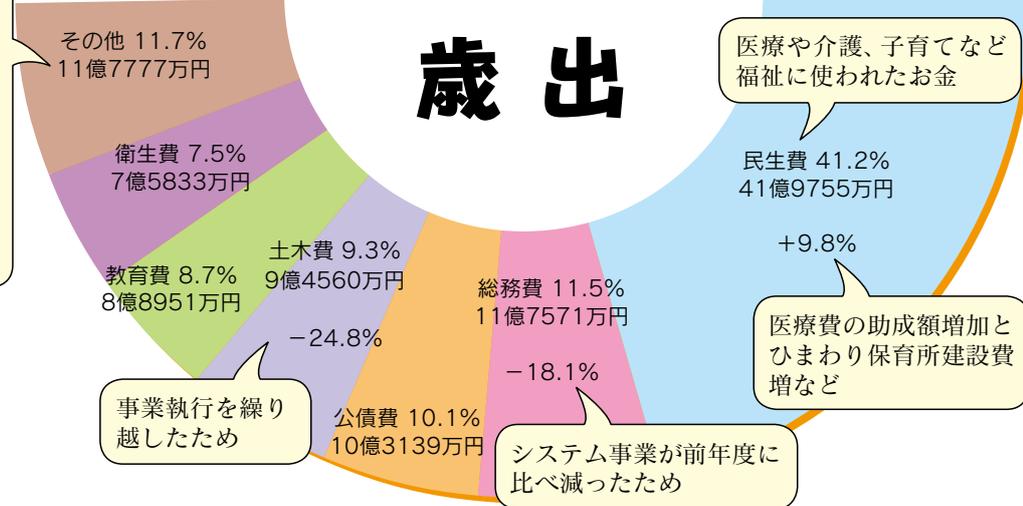
住民税や固定資産税・軽自動車税など、皆さんが納めた税金

町が借りたお金

歳入 105億 519万円  
歳出 101億 7588万円 (前年比の増減の大きなものを表示)

一項目の内訳

- ・議会費 1億736万円
- ・農林水産業費 2億6024万円
- ・商工費 1億1101万円
- ・消防費 4億8500万円
- ・諸支出費 2億347万円



医療や介護、子育てなど福祉に使われたお金

民生費 41.2%  
41億9755万円

+9.8%  
医療費の助成額増加とひまわり保育所建設費増など

-24.8%  
事業執行を繰り越したため

-18.1%  
システム事業が前年度に比べ減ったため

そのほか会計別決算状況

会計名	歳入	歳出
国民健康保険特別会計	40億7755万円	36億9549万円
後期高齢者医療特別会計	4億6793万円	4億4602万円
介護保険特別会計	27億6564万円	26億8113万円
公共下水道事業特別会計	6億3374万円	6億1994万円
水道事業会計	収入	支出
収益的 収入・支出	4億4577万円	4億3281万円
資本的 収入・支出	1億3066万円	3億523万円

【財政力指数は】0.768

指数が1に近いほど自主財源の割合が高い。昨年度より若干の改善。

【経常収支比率は】89.5%

財政の弾力性を示す指標。低いほど政策に使える財源が多い。29年度は経常経費の増大により悪化した。(70%以下が理想)

【実質公債費比率は】9.1%

収入に対する負債返済の割合。少ない方がいいのだが、昨年度から徐々に減っており、29年度も健全な状況といえる。

